



評価結果

- ・ 必要性      人工林の高齢林分が多い地区であり、適切な森林整備をすることで、国土保全、水源涵養及び保健休養等の公益的機能の発揮や地球温暖化防止、木材の安定供給が大きく期待できることから事業の必要性が認められる。
- ・ 効率性      費用便益分析の結果から、事業の効率性が認められる。
- ・ 有効性      シカ被害が多い地区であり、適切なシカ被害防止対策を講じるなど、地域の特性を踏まえた計画的な森林整備であるとともに、国有林の地域別森林計画に即した事業内容であり、森林の有する機能を十分発揮させる有効な事業であると認めらる。  
  
新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用便益分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能に応じた適切な森林整備が効率的に計画されていると認められる。

様式1

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業

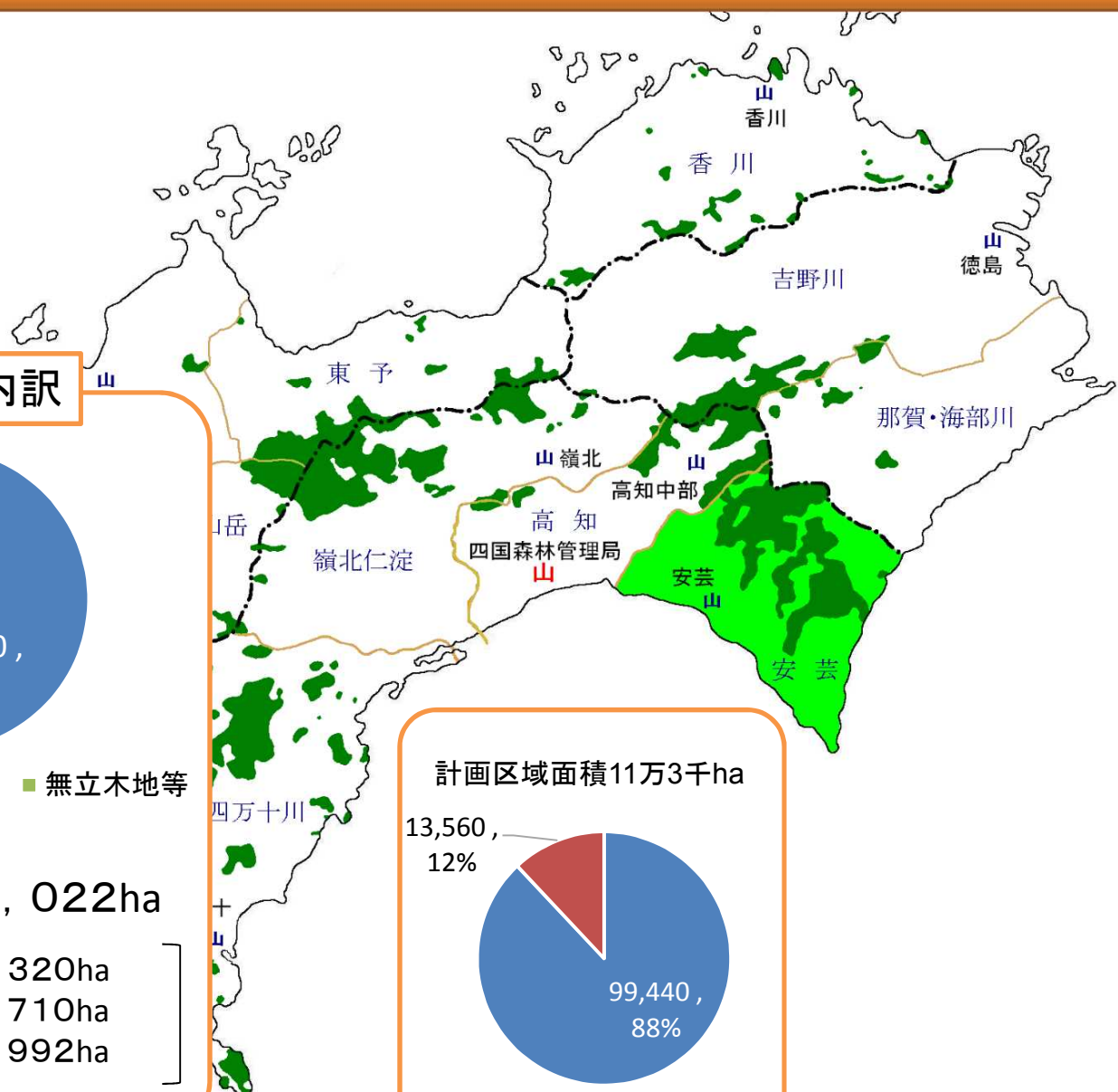
都道府県名：高知県

施行箇所：安芸森林計画区

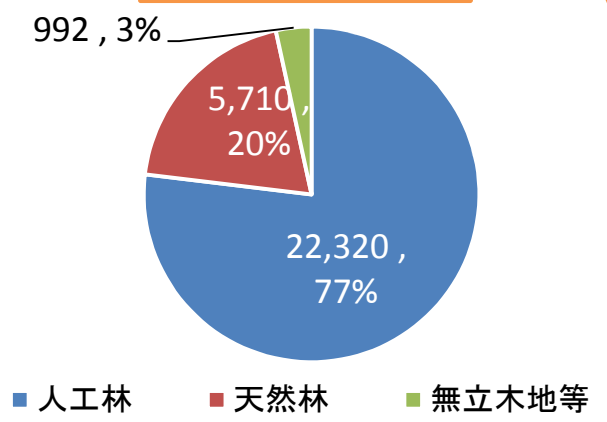
(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養 <sup>かん</sup> 便益	洪水防止便益	4,123,472	
	流域貯水便益	1,636,171	
	水質浄化便益	3,455,805	
山地保全便益	土砂流出防止便益	3,305,801	
環境保全便益	炭素固定便益	739,776	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	1,153,827	
	木材利用増進便益	6,744	
	木材生産確保・増進便益	614,417	
森林整備経費縮減等便益	森林管理等経費縮減便益	22,579	
	森林整備促進便益	1,472,632	
総 便 益 (B)		16,531,224	
総 費 用 (C)		5,686,969	千円
費用便益比	B ÷ C = $\frac{16,531,224}{5,686,969}$		= 2.91

# 安芸森林計画区的位置図



## 国有林の内訳



国有林面積 29,022ha

人工林	22,320ha
天然林	5,710ha
無立木地等	992ha

計画区域面積11万3千ha

